

平成 28 年度「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）に おける梅南中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、大阪市教育振興基本計画^{*}に基づき、英語イノベーション事業^{*}の一環として、「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）を実施いたしました。この調査の目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることです。

学習指導要領における中学校英語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」と示されております。本調査で測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

1 目的 (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。

(2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対象 大阪市立全中学校 生徒 1～3年生

※本校では 3年生 57人 平成 28 年 10 月 31 日（月）実施
2年生 59人 平成 28 年 10 月 31 日（月）実施
1年生 40人 平成 28 年 10 月 31 日（月）実施

3 内容

学年	英検 IBA の 種類	英検（目安）	テスト内容		満点 スコア
			リーディング問題	リスニング問題	
3年	テスト C	英検準2～5級レベル	35 題	30 題	1100 点
2年	テスト D	英検3～5級レベル	35 題	30 題	1000 点
1年	テスト E	英検4級・5級レベル	35 題	25 題	800 点

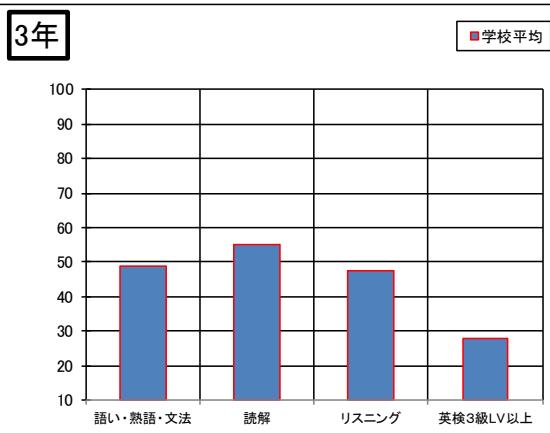
*大阪市教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成28年度「大阪市英語力調査」(「英検IBA」) 結果の概要と今後の取組 梅南中学校

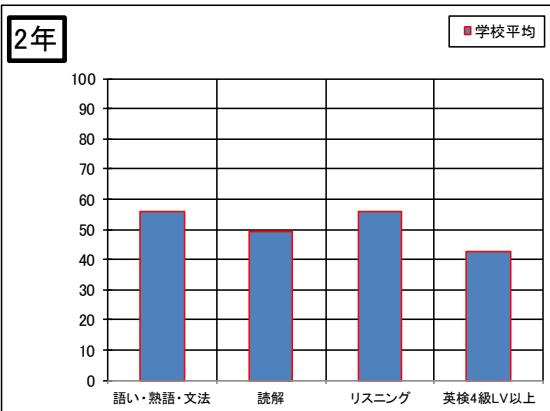
3年	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検3級LV以上
学校平均	48.7	54.9	47.6	28.1

「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均正答率



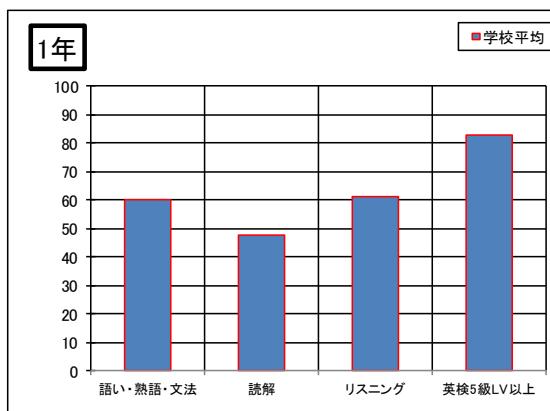
2年	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検4級LV以上
学校平均	55.9	49.2	55.8	42.4

「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均正答率



1年	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検5級LV以上
学校平均	60.1	47.7	60.9	82.5

「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均正答率



結果の概要と今後の取組について

※各学年において実施した調査は、それぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検(目安)準2～5級:スコア 0～1100点

『結果の概要』

全ての分野において大阪市平均に達しなかったのは、出題される話題、題材が広がり、読む量や聞く量の多い問題が出題されたためである。語彙力の向上と文法活用力の強化が今後の課題である。

『今後の取組』

「語彙」の定着のために毎時間、単語テストを実施しているが、反復学習を行い語彙力の向上を図る。

また、「読解」については基本的な問題は理解できるが、応用力がないため、問題演習の機会を増やし、英文をより多く読ませる必要がある。

2年 英検(目安)3～5級:スコア 0～1000点

『結果の概要』

英検4級LV以上の生徒が学年の半数に達していない。日々の授業で、語彙の定着のため毎時間小テストを行っているが、持続して覚えていくことが困難である。

リスニングが大阪市平均に近いが、更なる向上のための取り組みが必要。

『今後の取組』

家庭学習習慣が全く定着していないため、授業内で多くの問題に取り組ませる必要がある。

習熟度別に課題を用意し、個々の能力を高めていく必要がある。苦手意識の強い生徒が多いので授業を工夫し楽しく取り組め、英語が好きになる授業を展開していかなければならない。

1年 英検(目安)4・5級:スコア 0～800点

『結果の概要』

英検5級LV以上である生徒は多いが、各項目ごとの正答率は大阪市平均より少し低い。

問題の形式に慣れていないということもあるが、語彙や文法の定着をさらに図ることが課題。

『今後の取組』

ほぼ毎回の授業で単語テストを実施しているが、再テストをしないことが多いため語彙の定着が不十分。今後は、回数を増やしたり、ある程度まとまった量の単語テストを実施したりして語彙力向上を図る。

また、読解力をつけるためには教科書本文の文章量だけでは不十分があるので、教科書以外の英文を読む機会を増やし、英文を読むことに抵抗を無くすことが必要である。